

第13回 健康セミナー山口大会のご案内

生命の自覚—よみがえる千島学説

- 自然と共に生きる幸せ -

千島喜久男博士は、1899年10月10日に岐阜県高山市上宝村に4人兄弟の長男として生まれ、両親の急逝により苦学をされながら、千島学説 11 巻の全集をこの世に残されました。自然界の法則を克明に観察され、安らかな心や水、空気、食べ物、自然塩等の大切さを指摘されています。千島学説的いのち自衛法は、智慧とも言えます。基調講演の赤峰勝人親方は、食事指導等をされ、たくさんの方々が病気を克服されています。循環農法で出来た生命力の強い野菜と千島学説を活用した健康づくりについて詳しく講演されます。また、20年以上、千島学説の8大原理を学び、いのち自衛法に活用した多彩な実践・成果が発表されますので、その活用法を自らが実践し、益々健康になりませんか。

日 時：2019年7月21日(日) 10:00~16:00

会 場：山陽小野田市不二輸送機ホール（文化会館小ホール・新幹線厚狭駅南口徒歩3分）
電話・FAX 0836-71-1000

主 催：山口大会実行委員会、千島学説研究会、真珠会

委 員：学頭・小松健治 実行委員長・藤井久代 副委員長・安田敏己・片山耕修

会 費：前売券 2,000円（先着130名） 当日券 2,500円

懇親会：2019年7月20日(土) 18:00から 村上旅館

会費 5,000円（先着30名）参加申込みは前売券購入者へ。

17時に新幹線厚狭駅南口から旅館のマイクロバスが出発します

振込先：ゆうちょ銀行から（無料） 15530-16516801 フジコウゾウ
他金融機関から 店名五五八 店番558 口座番号1651680

宿 泊：村上旅館 電話 0836-76-0322 Fax0836-76-0948

〒757-0011 山口県山陽小野田市津布田平松小正寺

宿泊費 5,000円（朝食を含む。先着10名）

；あさステーションホテル 電話 0836-73-1661 厚狭駅北口徒歩1分

セミナー申込

実行委員長・真珠会会長	藤井久代	0836-84-0373
副実行委員長、オイコス社長	安田敏己	0836-76-1831
副実行委員長、小郡幼稚園園長	片山耕修	083-973-4100
事務局長 藤井康三	090-9504-6551	メール k_fujii 2so@yahoo.co.jp

第13回 健康セミナー山口大会

生命の自覚—よみがえる千島学説

2019年7月21日(日) 10:00~16:00

総合司会 小松伸子、卜部幸子

第1部 セレモニー

10:00~12:00

総合司会挨拶

小松伸子
卜部幸子

(江津市、あうん健康庵事務長)
(岡山市、卜部酒造取締役、メンターネット理事)

開会挨拶

藤井久代

(山陽小野田市、実行委員長、真珠会会長)

来賓挨拶

白井博文

(前市長、弁護士、元高裁裁判官、小野田・市民法律事務所長)

まだまだ少女合唱団による「みかんの花咲く丘」

巻頭講演

死生観を千島学説に学ぶ

小松健治

(江津市、元日赤病院胸部外科部長、あうん健康庵主、医師)

現代医療に不信感を感じ、もぐりの医者、藪医者を自称する正真正銘の医師に変身。江の川河畔にあうん健康庵を開院し、竹炭窯も設置し、地域医療に邁進される。国産木材の棺桶の中でも瞑想され、千島学説的健康づくりを自他共に思考され、患者様が感謝様になるように楽しく行動される。

病気はなぜ治るのか？—血液循環と生命の自覚—

大杉幸毅

(豊中市、血液循環療法協会会長、千島学研理事)

元農林技官。血液循環療法専門学院長として、後継者に体に優しい手技療法を指導される。福島原発事故後、被災者の治療を弟子と共にボランティア。チェルノブイリでは、低線量被曝地域の公立病院で小児まひの子供たちの治療に効果上げ、同病院でセミナーを開催した。その理論と施術方法、千島学説を普及される。

千島博士が究めた古代人の直感

藤井康三

(山陽小野田市、千島学研理事、千島学説実践道場主宰)

千島学説を検証して20年。河川にEM活性液を放流して、少しの思いと行動で河口の環境が変わることを知る。養護老人ホームで人の生死を観て、自然と共生した生き方に努め始める。赤峰親方から相似象の本を紹介いただき、祖先が素晴らしい文明文化の基に言葉を残されていることに感謝感激する。

12:00~

—昼食—

12:40~ わらべうたを楽しもう

(山口市、小郡幼稚園教諭)

第2部 基調講演

13:00～15:40

循環農法と千島学説

赤峰勝人

(臼杵市・なずなグループ代表・千島学研顧問)

百姓を生業にして半世紀以上。人は自然からすべてをいただいている、命のエネルギーが大きく循環していることに気づく。すべてがつながっていて、草も虫も微生物、カビ等、この世に何一つ無駄なものがないことを知り、宇宙の真理に根ざした循環農法を確立し、若者を育成される。

なずな新聞発行、問答塾、百姓塾、講演会等で自然の食べ物を通じて循環の大切さを訴え続けている。居合道5段、合気道3段。主な著書「食の命 人の命」「ニンジンから宇宙へ II」「アトピーは病気ではない」「循環農法」等多数

第3部 フィナーレ

15:40～16:00

閉会の辞 片山耕修

(山口市、小郡幼稚園長、副実行委員長)

第2の国歌「ふる里」合唱 片山美香代・遊

(山口市、小郡幼稚園副園長、山口笛の音工房主催)